

会 議 録

1 会議名

上越市都市再生整備計画評価委員会

2 議題（公開）

高田地区（都市再構築戦略事業）の事後評価について

3 開催日時

平成30年1月23日（火）午後1時30分～午後3時00分

4 開催場所

上越市役所4階 401会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：佐野可寸志、岩崎義一、石野友則、渡部准次、井部辰男
- ・ 事務局：都市整備課：佐々木課長、宮崎主幹、長谷川副課長、岩崎副課長、
北島係長、近藤係長、渡辺主任
- 教育総務課：工藤係長
- 体育課：石澤参事、中島主任
- 文化行政課（総合博物館）：阿部参事
- 下水道建設課：長谷川係長
- 観光振興課：大島副課長、谷川係長、中村主任
- 文化振興課：小池係長
- 産業振興課（中心市街地活性化推進室）：前角係長
- 社会教育課：加藤係長、藤田係長
- 都市整備課：山辺係長、小山係長
- 委託業者：(株)清水都市設計 2名

8 発言の内容

（1）開会

(2) 委員紹介、委嘱状交付

佐々木都市整備課長から委員へ委嘱状を手交

(3) 都市整備課長挨拶

本日は、ご多用の中、上越市都市再生整備計画評価委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、皆様におかれましては、委員就任をお願いしましたところご快諾いただきありがとうございます。併せてお礼申し上げます。

本日の議題は、都市再生整備計画に基づきさまざまな事業を進めてまいりました高田地区における事後評価について、ご審議いただきます。

当地区は、約 400 年前に高田城下として街が形成された地区であり、高田駅の開業により、上越地域の中心的な役割を担ってきました。しかし、急速な車社会の到来やライフスタイルの変化により、商業施設や公共施設の郊外移転・立地が進み、街としての求心力が低下し、駐車場など低未利用地の拡大により都市のスポンジ化が進んでいる状況です。このことから、高田開府 400 年と、平成 27 年春の北陸新幹線開業を契機に、城下町高田の都市機能の維持・強化及び居住環境の整備・改善を図り、賑わいや活力のある街の再構築を図るべく環境整備を進めてまいりました。

今年度、平成 25 年度から実施してきた計画が最終年度となることから、事後評価を進めてまいりました。本日はこの事後評価が適切に遂行されたかどうか、今後のまちづくりの方策が適切かどうかなどについてご審議いただく場でございます。

本日の審議をもとに、よりよいまちづくりを目指していきたいと存じますので、忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしく願いいたします。

最後になりますが、上越市のまちづくりに対し、皆様方からの一層のお力添えをお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

(4) 委員長選出

委員の互選により、委員長に佐野委員を選出

(委員長あいさつ)

長岡技術科学大学の佐野と申します。せん越ながら、委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(5) 都市再生整備計画及び事後評価制度の概要について

長谷川副課長： それでは、議題に入ります前に、都市再生整備計画及び事後評価制度の概要について、説明させていただきます。

<都市再生整備計画及び事後評価制度の概要について説明>

長谷川副課長： ただ今の説明につきまして、ご質問がありましたらお願いします。

<質問なし>

(6) 議題

高田地区（都市再構築戦略事業）の事後評価について

佐野委員長： それでは、議題「高田地区（都市再構築戦略事業）の事後評価について」に入りたいと思います。まず始めに評価委員会説明資料「2. 高田地区の計画概要」について、説明をお願いします。

渡辺主任： <評価委員会説明資料に基づき、2. 高田地区の計画概要について説明>

佐野委員長： ただ今のご説明について、ご質問等があればお願いいたします。

佐野委員長： 評価結果について、その他の数値指標は、最初から決定していたものなのか、事後評価のために作成したものか、どちらでしょうか。

北島係長： 城下町高田地区の再生の賑わい状況を計るものとして、事後評価の時点で設定したものであります。

佐野委員長： どのようにして選ばれたのか分からなくて、恣意的に10個の指標を選んで、その中から良いものを選ぶということも可能だとも思いますが、この指標は網羅的なものなのでしょうか。

北島係長： 良いものを選んだわけではなく、考えられる指標全てを挙げて、計測したものであります。

佐野委員長： では、これ以上の指標は考えられないということでしょうか。

北島係長： はい。考えられるもの全てとして、この5つの指標としております。

佐野委員長： そのほか質問がないようでしたら、続きまして、「3. 高田地区の事業及び成果の概要」、そして「4. 審議事項」について、あわせて説明をお願いします。

渡辺主任： <評価委員会説明資料に基づき、3. 高田地区の事業及び成果の概要について説明>

清水都市設計： <評価委員会説明資料に基づき、4. 審議事項（4-1. 数値目標の達成状況から4-4. 効果発現要因の整理）について説明>

渡辺主任： <評価委員会説明資料に基づき、4. 審議事項（4-5. 今後のまちづくりの方策）について説明>

佐野委員長： ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いしたい
と思います。

石野委員： 評価委員会資料 22 ページの数値目標の達成状況のところ、その他の数値
指標 1 の高田駅の利用者数について、従前値に比べ評価値が若干落ちている
が、このことについて、電車を利用せずに外から中心市街地に入ってきたと
見ているのか、地区の方が街に出てきた、もしくは車で入ってきたと見てい
るのか、どのような分析をしていますか。

北島係長： こちらにつきましては、どのように人が動いているかというところまでは
捉えきれていなくて、電車を利用する人、歩いて街から入ってきた人、自転
車や車を利用する人も考えられるところですが、細かい部分まで捉えきれて
いないというのが現状です。この指標につきましては、高田駅の利用者数が
数値的に大きく増加せず横ばいであったとしても、人口減の流れの中におい
て、今までどおりの数値が維持されているということが現段階では大事であ
るという考えにより数値の調査を行ったものです。

佐野委員長： これに関連して、歩行者数は平日と休日の数値をそれぞれ調査しているの
で、まとめずにできるだけ細かく見た方が、情報量が多くなります。例えば、
高田公園の利用者数でも、観桜会の観光客数とその他の施設利用者数がまと
められていて分かりづらいので、今回はいいですが、なるべくまとめずに、
多くの情報で事後評価したほうがよいと思います。

北島係長： 分かりました。

岩崎委員： 評価委員会資料 15 ページ高田公園広場整備事業や、16 ページ総合博物館
整備事業に関して、平成 30 年 3 月まで事業が継続するという事で、期待さ
れる利用者数などの効果は予測値となっていますが、これについて、今後、
モニタリング等で調査していくということなのか、また、18 ページ陸上競技
場等整備事業について、スタンド改修をして、開催する大会の質が変わって
観客数が大きく増加とあるが、どの程度増加したのでしょうか。それと、22
ページ数値目標の達成状況が示されているが、先ほど高田駅の利用者数につ
いて質問がありましたが、これについて、平成 24 年と平成 28 年を比較する
中で、北陸新幹線の開業により、高田駅に停車する特急の本数が変わるなど
の影響が仮にあるとすれば、単純に比較することがよいことなのか疑問に感

じますし、利用者数などにその影響があるのであれば備考欄などにその旨記述するのがよいのではと思います。

北島係長 : モニタリングに関して、終了していない部分については今回の確定値の中には入っておりません。これにつきましては、今年度末時点の数値をきちんと計測をいたします。また、そこで終わりではなく、今回の事業に関しては、その後毎年継続してモニタリングをして、街の課題の変化を捉えながら次の取組みにつなげていきたいと考えています。野球場について、開催される大会の質が変わったことで観客数が増えていることは確かではありますが、実際の数を把握しておりません。ここは反省すべき点で、今後は野球場の指定管理者と相談し、観客数を把握していきたいと考えております。最後に、北陸新幹線の開業で実際にどの程度高田のまちに影響をもたらしたのかということについては、なかなか因果関係が分かりにくいところですが、平成 29 年 7 月に実施した北陸新幹線上越妙高駅利用に関するアンケート結果から推計すると、年間の乗降者数が 147 万 5 千人位で、その内県外からの利用者が約半分の 72 万 3 千人位おりました。その中で、ビジネス・観光目的の方が 24 万 5 千人位おり、その内、上越市に向かう人が 10 万 8 千人にいて、その中で高田に流入してきた方がおよそ 3 万 9 千人位いたのではと推計されることから、北陸新幹線開業により一定程度の効果が高田のまちにあったのではないかと思います。このことについてはあくまでも推計であり、確信を持てなかったため評価書に載せなかったところでもあります。

井部委員 : 全体として事業効果が発現しているということについてはそのとおりだと思うが、年明けに高田駅前のコミュニティルームが平成 30 年 3 月末をもって廃止されると聞いているが、これは 2006 年に地域住民の交流や市街地の活性化を目的に市が 1 億 2000 万円で購入したのですが、約 10 年で廃止するというので、事業とは直接関係はありませんが、まちづくりの賑わいがかなり発現しているという一方で、駅前施設が廃止されるということとの関連性についてはいかがでしょうか。

北島係長 : 委員ご指摘のとおり高田駅前のコミュニティルームは廃止になるということと聞いており、報道にもあったのですが、ミューゼ雪小町や高田小町という施設が、今の市民の使い方のニーズにあってきたのではないかとということと、

高田駅前のコミュニティルームはマンションの中の一施設ということもあり、その住民の方や、下の階に病院や薬局があつたりするので、音の出るような活動をする場合、他の施設に利用が流れていることもあるかと思ひます。高田のまちの賑わいについては、今回の中心市街地の歩行者数にも現われておりますが、5,000人/日の目標に対して5,003人/日ということで決して安定した数値ではないと思ひておりますし、これをまず安定した数値に変えていき、さらに伸ばすように今後も取り組んでいきたいと思ひております。

渡部委員： 評価委員会資料22ページの数値目標の達成状況のその他の指標2、3、4について、基準年度の平成24年度数値を0としておりますが、商業中心市街地活性化推進室で空き店舗数とかその他の数値を把握しているかと思ひますが、基準年度の従前値として具体的な数値を示さなかった理由を教えてください。

北島係長： まずこの指標の考え方ですが、事業を始めた時を0件として、そこから何件増えたか、何件解消したかというところに視点を当てた指標であります。空き店舗や人口が減り続けていく中であっても、数値が改善していることが大事な点であろうというところに視点を当てた指標になります。

前角係長： 今ほどの質問の空き店舗数についてですが、当初が21件で、最新の数字として平成29年11月末現在で16件となっております。

佐野委員長： 評価委員会資料17ページの陸上競技場整備事業の資料の実施効果として陸上競技場の利用者数を示すグラフで、平成28年は改修工事のため7月までしか使用していないので25,952人、平成29年は9月1日から使用開始したため18,700人となっておりますが、その2年の数値結果をもって今後何もしなければ利用者数が激減するという表現は、あまりにも酷いのではないのでしょうか。このグラフの下降線の引き方だと、そのように見えます。

北島係長： 分かりづらいところがあり申し訳ございません。そういう意味ではなく、手を打たなければ第2種陸上競技場から外れ、これまで行ってきた大会も開催できずに利用者が減ってしまうというイメージを表したものです。

佐野委員長： そのことについては、定性的にはわかりますが、このグラフで説明されると恣意的に感じてしまいます。言葉で説明してもらえばよいかと思ひます。

北島係長： はい。

佐野委員長： あと、競技場の質が上がったことによる集客増により、宿泊者が増加した

ということであれば、宿泊客数を定量的に評価できなかつたのでしょうか。

北島係長： ホテルを1件ずつあたって、宿泊の内容を聴き取ることは現実的には難しいと考えております。

佐野委員長： 評価委員会資料25ページの効果発現要因の整理のところ、指標2の高田公園利用者数に関してですが、下水道の整備事業が高田公園の利用者数に直接関係するのでしょうか。

北島係長： 下水道整備事業につきましては、オーレンプラザへの引込みとして整備したものであり、下水道が整備されなければオーレンプラザも開館できなかつたと考えて、指標改善への貢献度を◎といたしました。

佐野委員長： 他に何かございますでしょうか。

それでは、一通り意見も出たようですので、事後評価の手続きの妥当性及び今後のまちづくりについて確認します。事後評価の手続きが適切に進められ、今後のまちづくりについて適切に検討されていると評価してよろしいでしょうか。

全委員： 異議なし。

佐野委員長： それでは、事後評価の手続き及び今後のまちづくりについて適切であると確認いたしました。

事務局においては、本日の評価委員会での意見を踏まえたうえで、今後の事後評価手続きに遺漏のないようお願いします。

以上で本日の議事は終了いたしましたので、議長の職を解かせていただきます。

(7) 評価委員会後のスケジュール

長谷川副課長： ありがとうございます。それでは、この委員会後のスケジュールについてご説明いたします。

本日ご審議いただきましたことを踏まえて、事後評価シートを修正し、国に提出させていただきます。

その後、事後評価シートの確定版を委員の皆様へ送付するとともに、広報、ホームページ等を通じて広く市民の皆さんに公表したいと考えております。

ただ今の件、及び、全体を通してご質問等ありましたらお願いします。

<質問なし>

長谷川副課長： それでは、以上をもちまして、上越市都市再生整備計画評価委員会を終了いたします。本日は、長時間にわたるご審議大変ありがとうございました。

(8) 閉会

9 問合せ先

○会の運営に関すること

都市整備部都市整備課監理係 TEL：025-526-5111（内線1784）
E-mail：toshiseibi@city.joetsu.lg.jp

○議案内容に関すること

都市整備部都市整備課市街地整備係
TEL：025-526-5111（内線1382）
E-mail：toshiseibi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。